

会議状況等報告書							報告者	小高 清楓			
会議の名称		令和6年度第2回大府市文化懇話会									
日 時		令和6年11月5日(火) 15時30分～17時00分						場所	市役所5階 委員会室1		
出席者	委員	安田 文吉	加藤 武志	伴恵	花井 里名	越後谷 卓司	張悦	山口 副市長			
		○	○	○	○	○	○	○			
	事務局	近藤 部長	田中 課長	細谷 係長	小野 主事	小高 主事	近藤 館長	内藤 館長	松井 館長	P&P 永吉	P&P 間瀬
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
傍聴者 0名											
内容											
1. あいさつ ◆加藤武志座長あいさつ 今回は今年度2回目の開催となり、上半期の事業等の確認と、大府市文化芸術振興指針の改訂についての2つが大きな議題になると思うのでよろしくお願いしたい。 ◆安田文吉先生あいさつ 文化活動といえば9月の大府子ども歌舞伎を無事に開催することができ、次は清流の国ぎふでの国民文化祭の発表を控えている。大府市では、歌舞伎だけではなく、落語やバイオリンさらにはオカリナ等の多くの文化活動が活発に行われている。これからもよろしくお願いする。 2. 議題 (1) 令和6年度上半期事業実績について ・資料No.1-1、1-2、1-3 1-4に基づき事務局・各施設から説明 〈意見交換〉 委 員) 来年度の途中から休日の中学校の部活がなくなるということで、文化協会では日本の古き良き文化を継承している個人を積極的に上手に使ってほしい。地域の活性につながるだけでなく、文化体験は子どもの心にも残ることだと思う。文化協会の活用という点で検討してみてほしい。 また、来年10月に開催する県民茶会は1,500人から1,800人ほど他市町村から集まる大きなイベントで、大府のPRの機会として絶好の場であると考えている。そこで、何か協賛していただけたらもっと盛り上がるのではないかな。 委 員) 外国人への発信を強化してほしい。大府への移住者は外国が確実に増えている。産業文化まつりの様子を見てかなり賑わっていたが外国人が少なく感じた。大府は素晴らしい文化・産業があるので一緒に盛り上がることでより文化発展につながるのではないかな。具体的に、産業文化まつりのステージに外国人の枠を設けることで友人・家族による発信が生まれると考える。											

（２）大府市文化芸術振興指針の改訂について

・資料No.2－１、２－２に基づき事務局説明

〈質疑応答〉

委 員）３ページに「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器を利用したメディア芸術」と書かれているが、事業と照らし合わせると、漫画や電子機器を利用したものがない。図書館の所蔵も踏まえてこのような記述なのか。今後これらを取り入れた事業を展開する方向性なのかお聞かせ願う。

課 長）ご指摘の部分は法律を踏まえたもので、実現が可能な範囲で明文化したためこのような表現になっている。より良いかたちに御意見を頂くことができれば改善していく所存であるためお願い申し上げる。

副市長）指針の内容にパラアートは含めないのか。

課 長）追加する。

座 長）文化振興基金の積み立てはどのような理由で行われる予定なのか。

課 長）対象事業の増加が主な理由である。

係 長）数年前まで基金の額が年間約 300 から 500 万円であったが、近年は新規事業の増加に伴い増加傾向にある。基金残高の減少や活用事業の増加という状況から、市として積み立てがされることになった。

〈意見交換〉

委 員）ホールの利用について、近隣の施設はリハーサルだと安く利用できる。大府市でもそれを取り入れることはできないか。

課 長）条例で定めていることであるため、別の方法での支援を含め、必要性を検討する。

委 員）外国人との交流に関して、指針にもある食文化は一つの貴重な資源である。食を通してその国の文化を知るとはとてもいい機会であるとの考えから、食を通じた交流会を公民館で開催している。より良い場所や環境があればより人が集まりやすいのではと思う。

課 長）アローブを紹介したいが調理室がない。石ヶ瀬会館やほかの施設のお祭りに参加して交流を図るなど、国際交流協会と意見を交えながら考えていきたい。

３．その他

【次回開催連絡】

第３回大府市文化懇話会

令和７年２月上旬

場所：大府市役所５階 委員会室１